

## 第4章 俳句の一覧操作

- 4 . 1 俳句帳を選択する
- 4 . 2 一覧を上下左右に移動する
- 4 . 3 自動整列する
- 4 . 4 文字の大きさを変える
- 4 . 5 列順・列幅を変更する
- 4 . 6 書体を変更する
- 4 . 7 縦書き俳句の表示有無を設定する

この章では、登録した俳句の一覧操作を説明します。

## 4 俳句の一覧操作

俳句を閲覧するためには、まず、俳句を格納している俳句帳の選択を行います。俳句帳を選択すると、俳句の一覧画面が開いて、俳句の閲覧が可能となります。

俳句の閲覧には、登録の時のような決まった手順があるわけではありません。俳句三昧のプログラムは、閲覧用にいくつかの機能を用意しているので、これらの機能を組み合わせて、俳句の閲覧を行うことになります。


本章では以下の構成で、閲覧の方法を説明します。

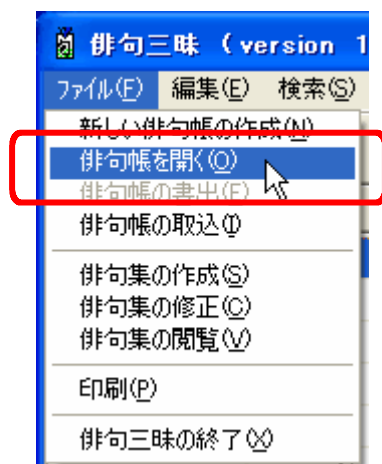
俳句帳を選択する	4 . 1
一覧を上下左右に移動する	4 . 2
自動整列する	4 . 3
文字の大きさを変える	4 . 4
列順・列幅を変更する	4 . 5
書体を変更する	4 . 6
縦書き俳句の表示有無を設定する	4 . 7

### 4 . 1 俳句帳を選択する

俳句を閲覧するためには、まず、俳句を格納している「俳句帳」を選択する必要があります。俳句帳の選択方法は以下の通りです。

#### ( 1 ) メニュー操作

俳句帳を選択するためには、ファイルメニューから「俳句帳を開く」を選びます。または、ツールバー上の、 このアイコンを選択します。

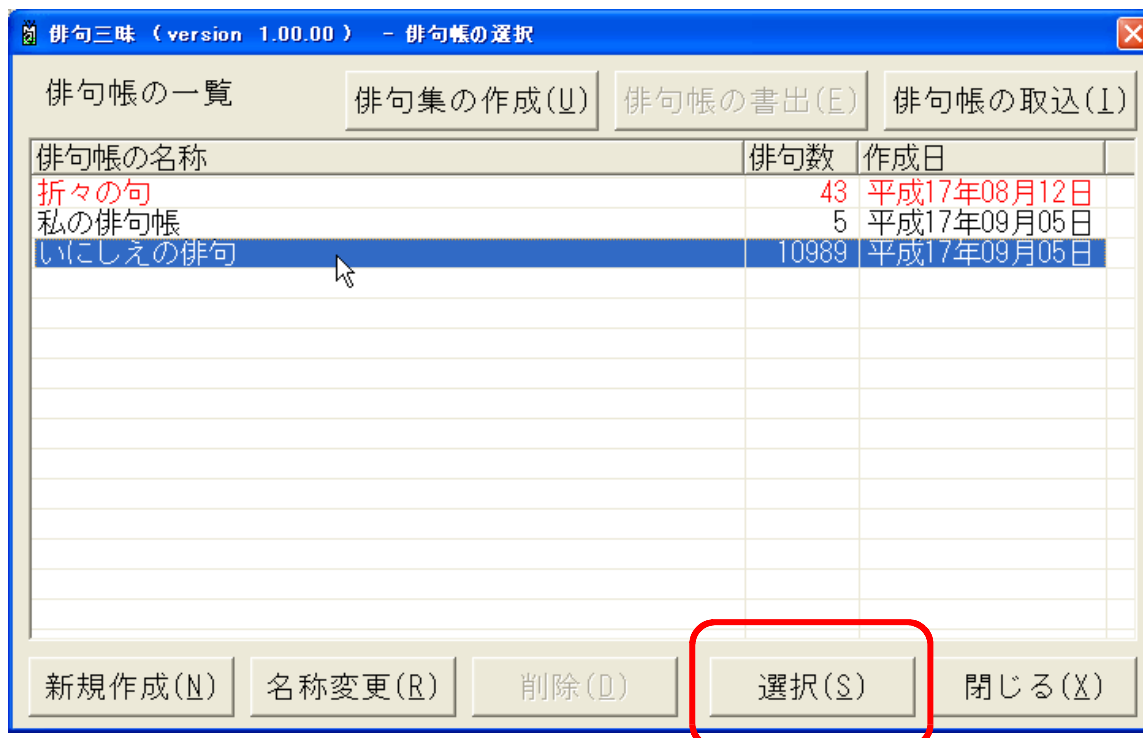


この操作により、次ページのような俳句帳の選択画面が開きます。

## ( 2 ) 俳句帳の選択

以下は俳句帳の一覧画面です。

俳句帳の名称や、俳句の登録件数などが表示されています。



ここで、閲覧したい俳句帳を選択します。

一覧上でマウスの左ボタンを1回押すと、その行が青色表示に変わります。

画面の例では、「いにしえの俳句」が青色表示となっており、これが現在選択中の俳句帳であることを示しています。この状態で、「選択」ボタンを選ぶと、俳句帳の選択作業が完了して、俳句の一覧画面に戻ります。

但し、今まで開いていた俳句帳に変更がある場合、これに先立って保存の確認画面が開きます。（「3.1 (4) 保存の確認画面について」参照）

### 備考：俳句帳画面の表示色について

俳句帳の画面では、色によって俳句帳の属性を表現しています。

**赤い字** : この俳句帳画面に来る前に開いていた俳句帳です。

**黄色の背景** : 修正ができない閲覧専用の俳句帳です。

**青色の背景** : 「選択」ボタンにより、これから開こうとしている俳句帳です。



## 4.2 一覧を上下左右に移動する

以下は、俳句帳「いにしへの俳句」に含まれる俳句の一覧表です。  
この俳句帳には10989件の俳句が登録されていますが、画面例の通り、いまは最初の21件だけが見えている状態です。  
つまり、画面の下方には、まだ多くの俳句が隠れていることになります。

また現在は、番号・俳句・詠んだ日・詠んだ場所の4項目だけが表示されている状態ですが、画面の右側にも、多くの項目が隠れています。

本節では、一覧リストの上下左右の移動方法を説明します。

いにしへの俳句

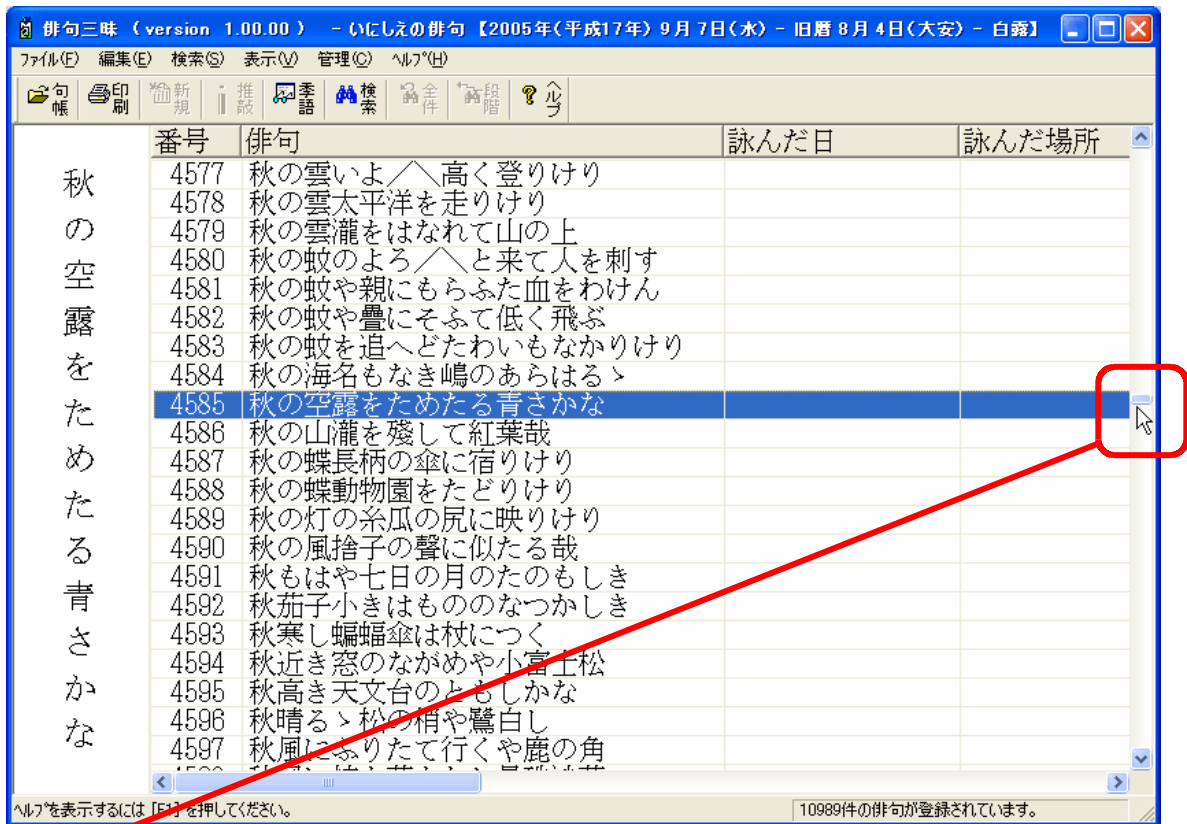
番号	俳句	詠んだ日	詠んだ場所
1	あゝ 寒 い あ ら あ ら 寒 い ひ が ん 哉		
2	あいつらも夜永なるべしそゝり唄	文化10年	
3	あこが手に書て貰ふや星の歌	文政 8年	
4	あこが餅／＼迎並べけり	文化10年	
5	あこよ来よ転ぶも上手夕涼	文化13年	
6	あさぢふの瘦蚊やせのみやせ子哉		
7	あさぢふや犬の盒子も梅の花	文化 2年	
8	あさぢふや人はくつまめ雁は鳴	文化 3年	
9	あさら井や小魚と遊ぶ心太	文政 3年	
10	あたら日のついと入りけり帰り花		
11	あつき夜や江戸の小隅のへらす口	文化 7年	
12	あつさりと春は来にけり浅黄空	文化11年	
13	あのくたら三百文の桜哉	文化 8年	
14	あの月をとつてくれろと泣子哉	文化10年	
15	あの藪に人の住めばぞ薺打つ		
16	あばら家も歳徳神の御宿かな		
17	あばら家や其身その儘明の春		
18	あばら骨なでじとすれど夜寒哉	文化10年	
19	あまり鳴て石になるなよ猫の恋	文化11年	
20	あら寒や大薺のとぼけ咲	文化11年	
21	ありたけの蚊をふるひ出す芒哉	文化13年	

10989件の俳句が登録されています。

俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。  
操作方法を的確に説明するため上図には出荷時の順序とは異なる画面例を掲載しています。また、俳句の表示順序や列の順序は変更が可能であるため、お客様の操作により実際の表示内容と掲載の画面例が異なる場合があります。  
これは、次ページ以降の一覧画面についても同様です。  
表示順の変更は「4.3 自動整列する」をご参照ください。  
また列順の変更は「4.5 列順・列幅を変更する」をご参照ください。

## (1) 一覧リストのマウスによる上下移動

画面右側のつまみ（スクロールバー）を、マウスの左ボタンで押しながら、マウスを上下に動かすと、マウスの動きに応じて、一覧リストが上下に移動します。



### つまみ（スクロールバー）の拡大図

- ▲ マウスの左ボタンで1回押すごとに、一覧リストが上方に少しずつ移動します。  
これにより、画面の上側に隠れている俳句が見えるようになります。
- マウスの左ボタンを押しながらマウスを上下に移動すると、マウスの動きに合わせて、一覧リストが上下に移動します。
- ▼ マウスの左ボタンで1回押すごとに、一覧リストが下方に少しずつ移動します。  
これにより、画面の下側に隠れている俳句が見えるようになります。

## (2) 一覧リストのキーボードによる上下移動

一覧リストの上下移動は、キーボードからも操作することが可能です。  
キーボードを操作する場合は、下図のキーを使用します。



Home 一覧リストの先頭の句が見えるように移動します。

End 一覧リストの最後の句が見えるように移動します。

PageUp 1画面ごとに上方に移動します。

PageDown 1画面ごとに下方に移動します。

1件ずつ上に移動します。

1件ずつ下に移動します。

### ノート型コンピュータの場合

ノート型のコンピュータでは、キーボードの配列が上図とは異なる場合があります。  
使用するキーの刻印は、上記 ~ の太字の通りですので、お手持ちのコンピュータの説明書をご参照の上で、キーがどこにあるかをお探し下さい。



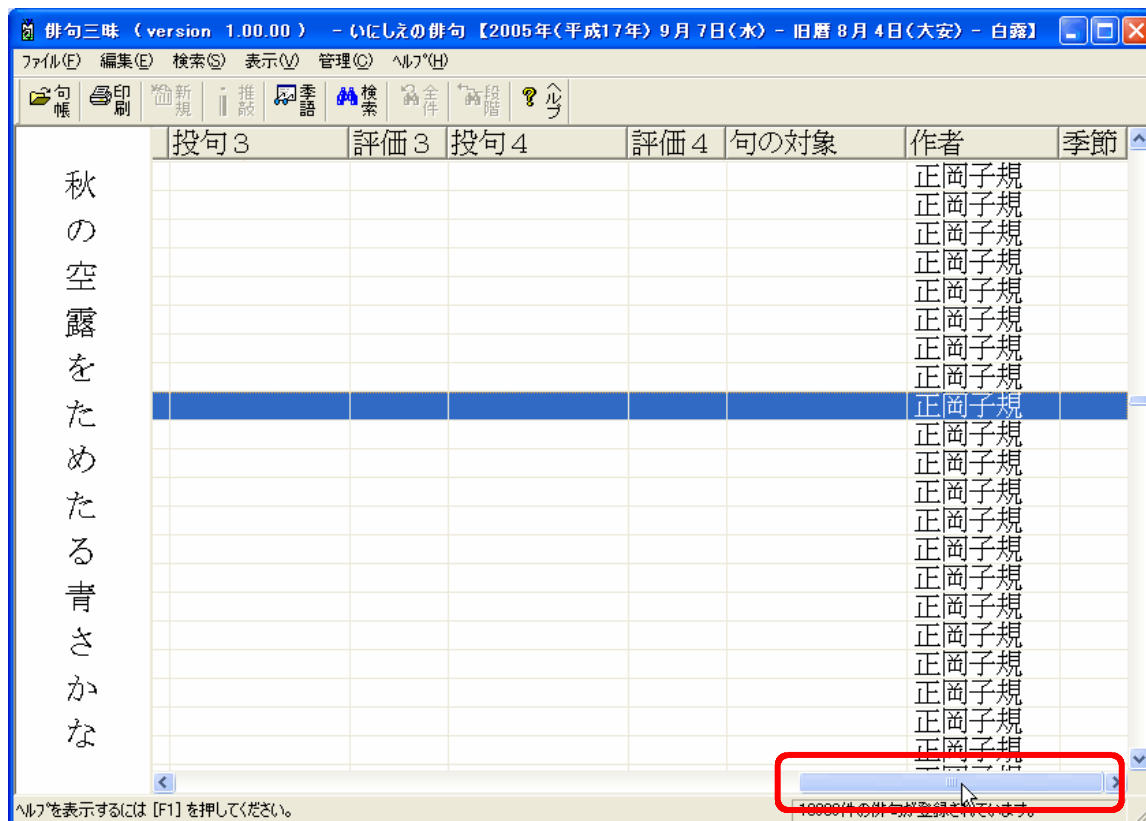
Home/Endなどは、おおむねこのあたりにあります。(機種により異なります。)  
ノート型の場合は、左下の[FN]キーを同時に押さないと、動作しない場合があります、注意が必要です。

上下左右キーは、おおむねこのあたりにあります。(機種により異なります。)

Home/End/PageUp/PageDownなどは、このあたりにある[FN]キーを同時に押しなが  
らでないと動作しない場合があります。

### (3) 一覧リストのマウスによる左右移動

画面下側のつまみ（スクロールバー）を、マウスの左ボタンで押しながら、マウスを左右に動かすと、マウスの動きに応じて、一覧リストが左右に移動します。



- ◀ マウスの左ボタンで1回押すごとに、一覧リストが左方に少しずつ移動します。キーボードの[ ]キーを押したときも、同様の動作を行います。
- ▶ マウスの左ボタンで1回押すごとに、一覧リストが右方に少しずつ移動します。キーボードの[ ]キーを押したときも、同様の動作を行います。



マウスの左ボタンを押しながらマウスを左右に移動すると、マウスの動きに合わせて、一覧リストが左右に移動します。

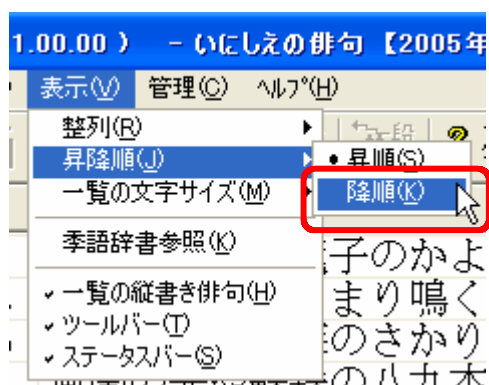
### 4.3 自動整列する

俳句の一覧リストは、以下の項目で自動整列させることが可能です。

俳句	昇順の場合：	文字コードの小さい順に整列します。
	降順の場合：	文字コードの大きい順に整列します
季節	昇順の場合：	新年 春 夏 秋 冬の順に整列します。
	降順の場合：	冬 秋 夏 春 新年の順に整列します。
作者	昇順の場合：	文字コードの小さい順に整列します。
	降順の場合：	文字コードの大きい順に整列します
詠んだ日	昇順の場合：	古い順に整列します。
	降順の場合：	新しい順に整列します。

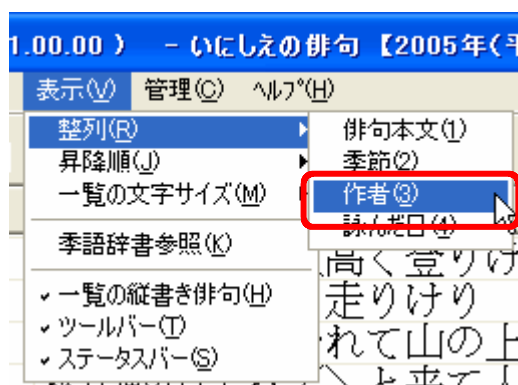
#### (1) 昇降順の指定

まず、表示メニューから「昇降順」を選び、「昇順」または「降順」を選択します。以下の例では、「降順」を選択しています。



#### (2) 整列の実行

続いて、表示メニューから「整列」を選び、対象となる項目を選択します。以下の例では、「作者」を選択しています。





以下は、作者で整列した場合の一覧リストの例です。  
作者で整列を行うと、同じ作者の俳句が集まって並びます。

番号	俳句	詠んだ日	作者
6581	破垣やわざと鹿子のかよひ道		河合曾良
6582	膝折るやかしこまり鳴く鹿の声		河合曾良
6583	病僧の庭はく梅のさかり哉		河合曾良
6584	風蘭の先や蘇鉄の八九本		河合曾良
6585	木の間をのぞく短夜の雨		河合曾良
6586	夜もすがら秋風きくや裏の山		河合曾良
6587	夜寒とて人はねちむく月見かな		河合曾良
6588	涼しさや此庵をさへ住捨し		河合曾良
6589	畳めは我が手のあとぞ紙衾		河合曾良
6590	袂より春は出てたり松葉錢		河合曾良
6591	いかめしき門を這入れば蕎麦の花		夏目漱石
6592	いたつきも久しくなりぬ柚は黄に		夏目漱石
6593	かしこまる膝のあたりやそぞろ寒		夏目漱石
6594	かんてらや師走の宿に寝つかれず		夏目漱石
6595	せぐくまる蒲団の中や夜もすがら		夏目漱石
6596	ただ一羽来る夜ありけり月の雁		夏目漱石
6597	ちら／＼と陽炎立ちぬ猫の塚		夏目漱石
6598	ともし置いて室明き夜の長さ哉		夏目漱石
6599	どっしりと尻を据えたる南瓜かな		夏目漱石
6600	ニツケルの時計とまりぬ寒き夜半		夏目漱石
6601	ふるひよせて白魚崩れんばかりなり		夏目漱石

俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

### 備考：手動操作による並び順の変更について

俳句三昧プログラムでは、自動整列だけではなく、手動操作による並び順の変更も可能です。

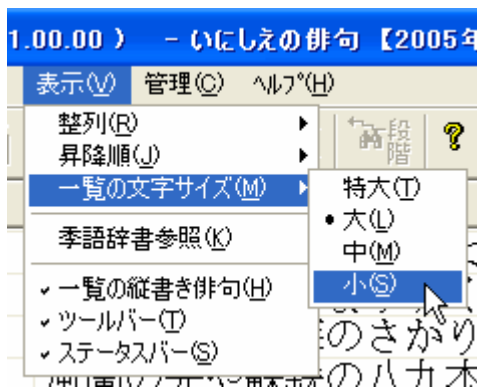
手動操作による並び順の変更は「8 俳句の移動とコピー」をご参照ください。

### 備考：文字コードについて

文字コードはコンピュータで文字を利用するために各文字に割り当てられた数値です。文字コードで整列する場合、かならずしも50音順に並び替わるわけではありませんが、同一文字は集まって来ますので、作者別に整列したい場合などに効果があります。

#### 4.4 文字の大きさを変える

一覧リストの文字サイズを変更する場合は、表示メニューから「一覧の文字サイズ」を選び、特大・大・中・小のいずれかのサイズを指定します。  
一度設定した文字サイズは、次回起動時にも保持されます。  
お好みに合わせて、文字サイズを調整して下さい。



##### (1) 文字サイズ「小」の画面例

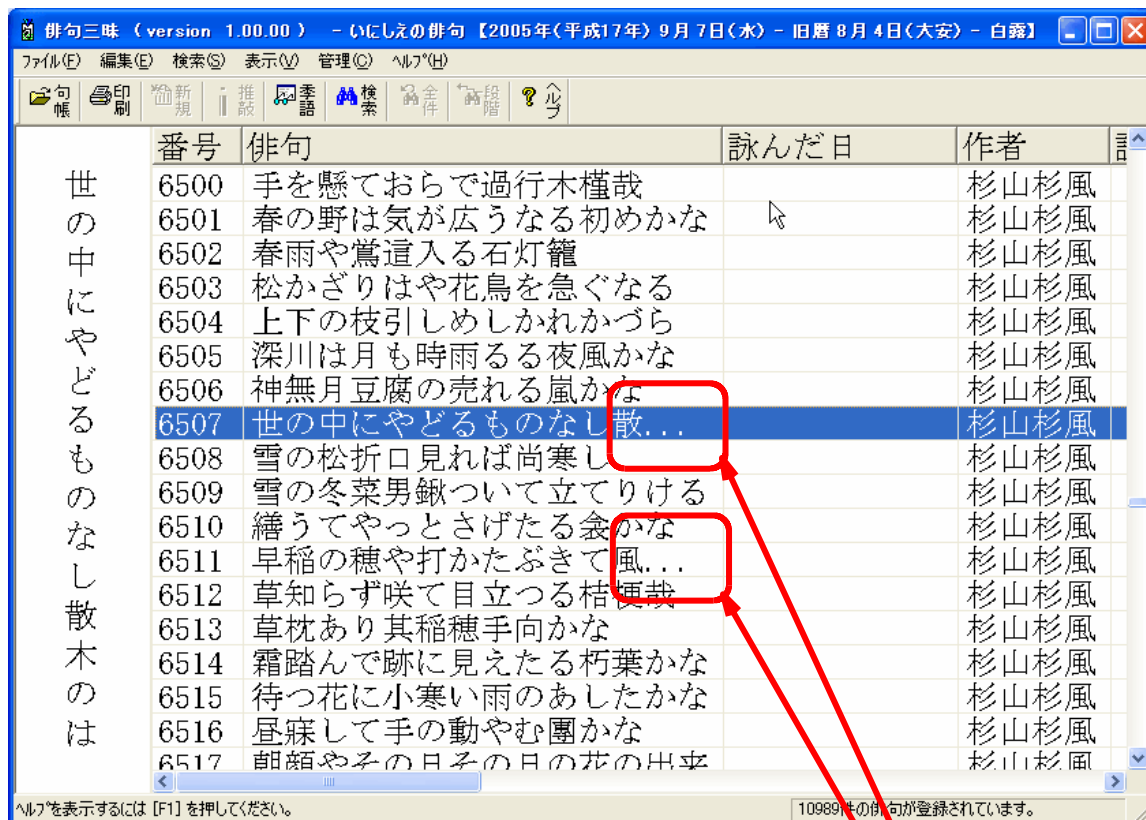
以下は、文字サイズを「小」とした場合の一覧リストです。  
文字を小さくすると、画面に多くの俳句を表示することが可能となります。



この画面例では、6500～6534の35件分の俳句を表示しています。  
俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

## (2) 文字サイズ「特大」の画面例

以下は文字サイズを「特大」とした場合の一覧リストです。  
この画面例では、6500～6516の17件分の俳句を表示しています。  
俳句数は少なくなりますが、文字は読みやすくなります。



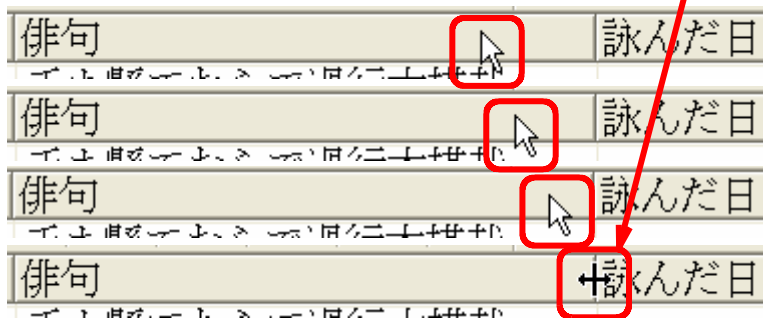
番号	俳句	詠んだ日	作者
6500	手を懸ておらで過行木槿哉		杉山杉風
6501	春の野は気が広うなる初めかな		杉山杉風
6502	春雨や鶯這入る石灯籠		杉山杉風
6503	松かざりはや花鳥を急ぐなる		杉山杉風
6504	上下の枝引しめしかれかづら		杉山杉風
6505	深川は月も時雨るる夜風かな		杉山杉風
6506	神無月豆腐の売れる嵐かな		杉山杉風
6507	世の中にやどるものなし散...		杉山杉風
6508	雪の松折口見れば尚寒し		杉山杉風
6509	雪の冬菜男鰯ついて立てりける		杉山杉風
6510	繕うてやっとさげたる衾かな		杉山杉風
6511	早稲の穂や打かたぶきて風...		杉山杉風
6512	草知らず咲て目立つる桔梗哉		杉山杉風
6513	草枕あり其稲穂手向かな		杉山杉風
6514	霜踏んで跡に見えたる朽葉かな		杉山杉風
6515	待つ花に小寒い雨のあしたかな		杉山杉風
6516	昼寝して手の動やむ團かな		杉山杉風
6517	朗顔やその日その日の花の出来		杉山杉風

## 4.5 列順・列幅を変更する

### (1) 列幅の変更

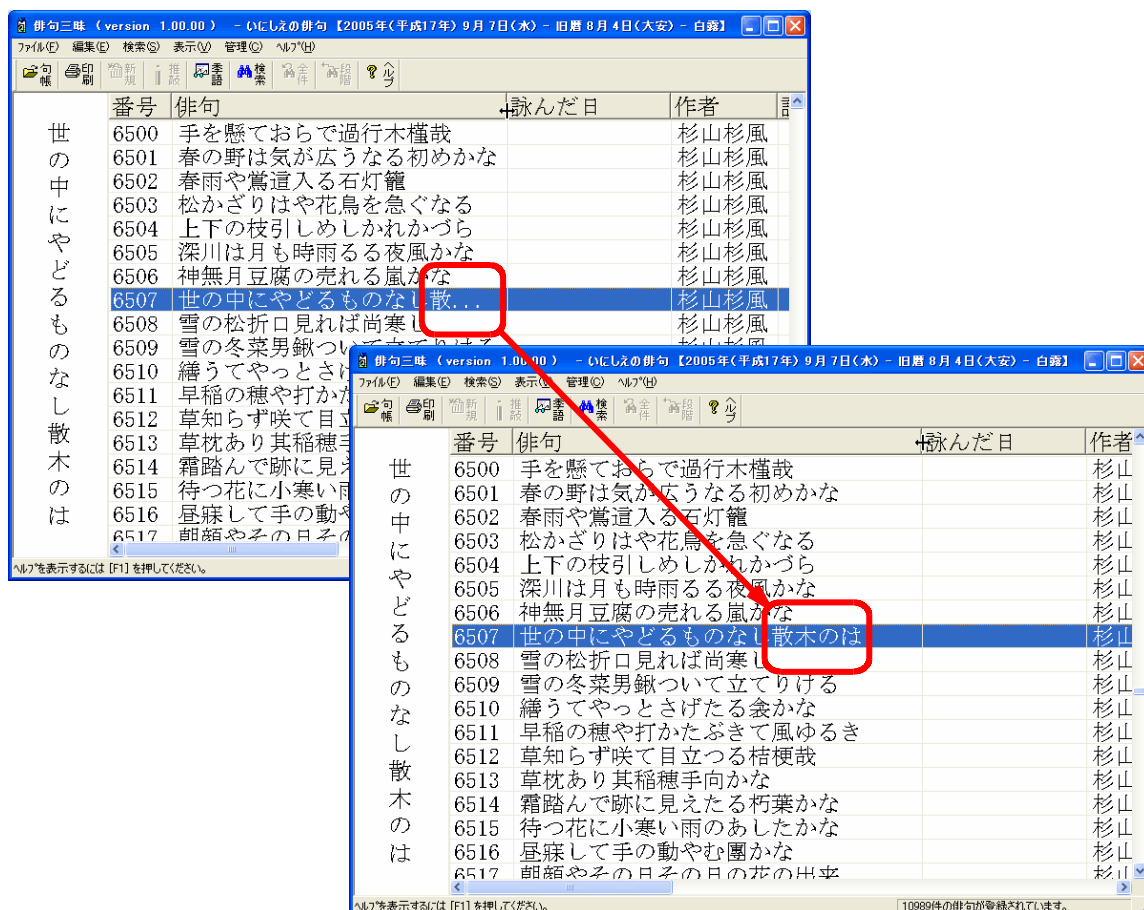
文字を大きくすると、俳句が切れてしまう場合があります。  
上記画面で、「...」となっている所は、俳句が長すぎて列内に納まらなかったことを示しています。  
このような場合、列幅は、以下の方法で変更することが可能です。

まず、マウスカーソルを、一覧表の項目名の上に移動します。  
列の境界付近に移動すると、マウスカーソルの形状が「+」型に変化します。



マウスカーソルの形状が「+」型に変化した時、マウスの左ボタンを押します。  
左ボタンを押したまま、マウスを左右に移動すると、列幅が変化します。

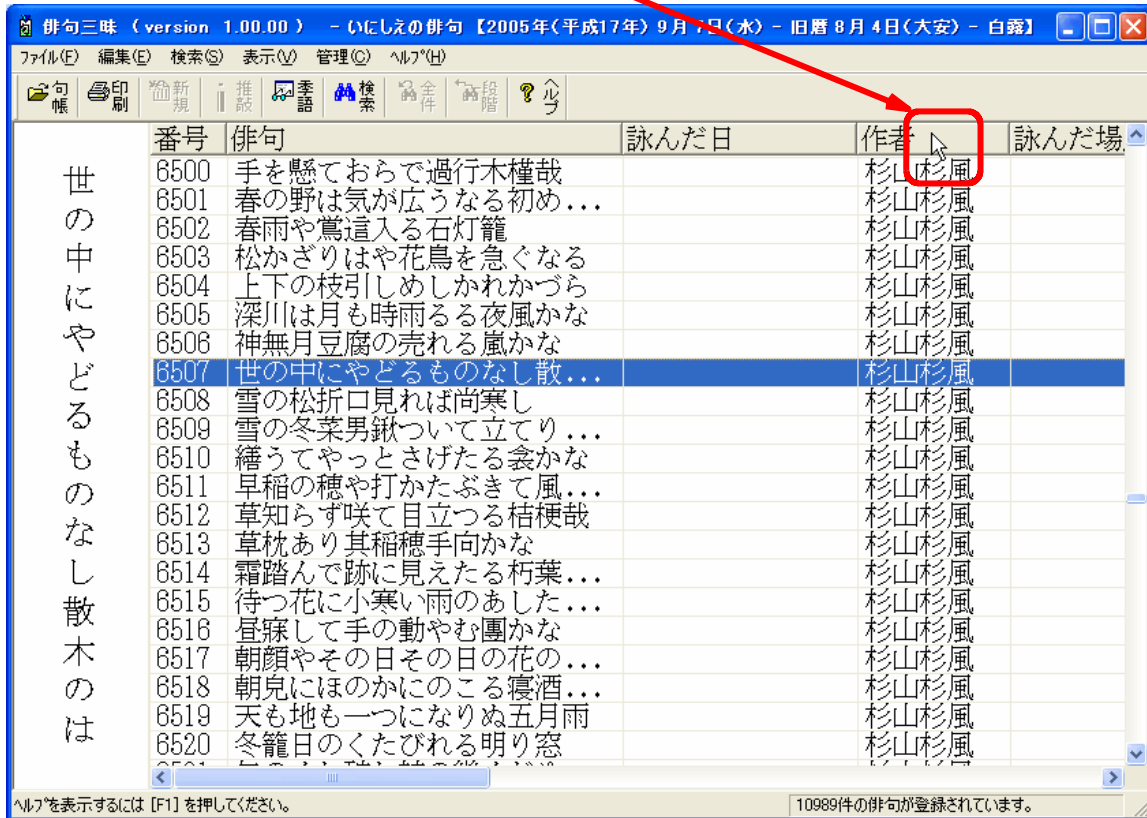
下記の画面例では列幅を広げたため、最初は「散...」となっていた俳句が最後まで表示されています。



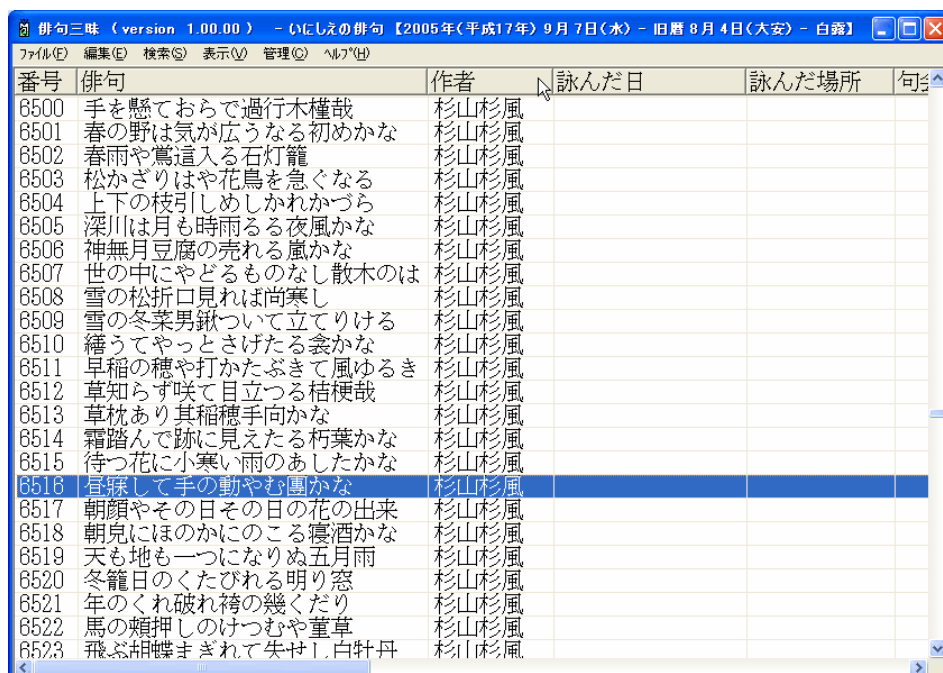
俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

## (2) 列順の変更

列順の変更を行う場合も、マウスカースールを一覧表の項目名の上に移動します。ただし、列の境界付近ではなく、中央部分に移動します。



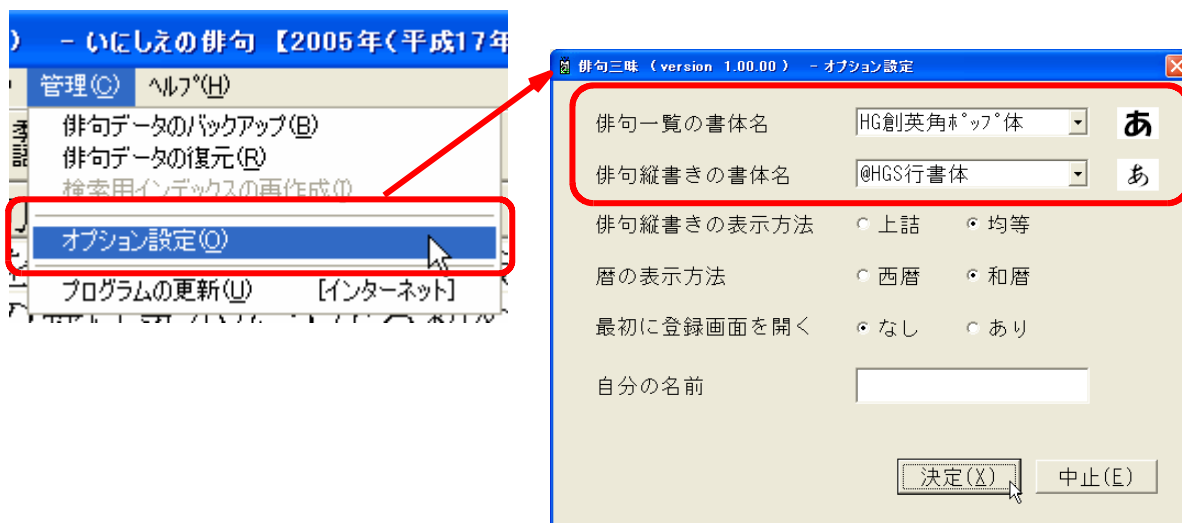
ここで、マウスの左ボタンを押し、押したまま左右に移動すると、列が移動します。以下の例では、作者を、詠んだ日の前に移動しています。



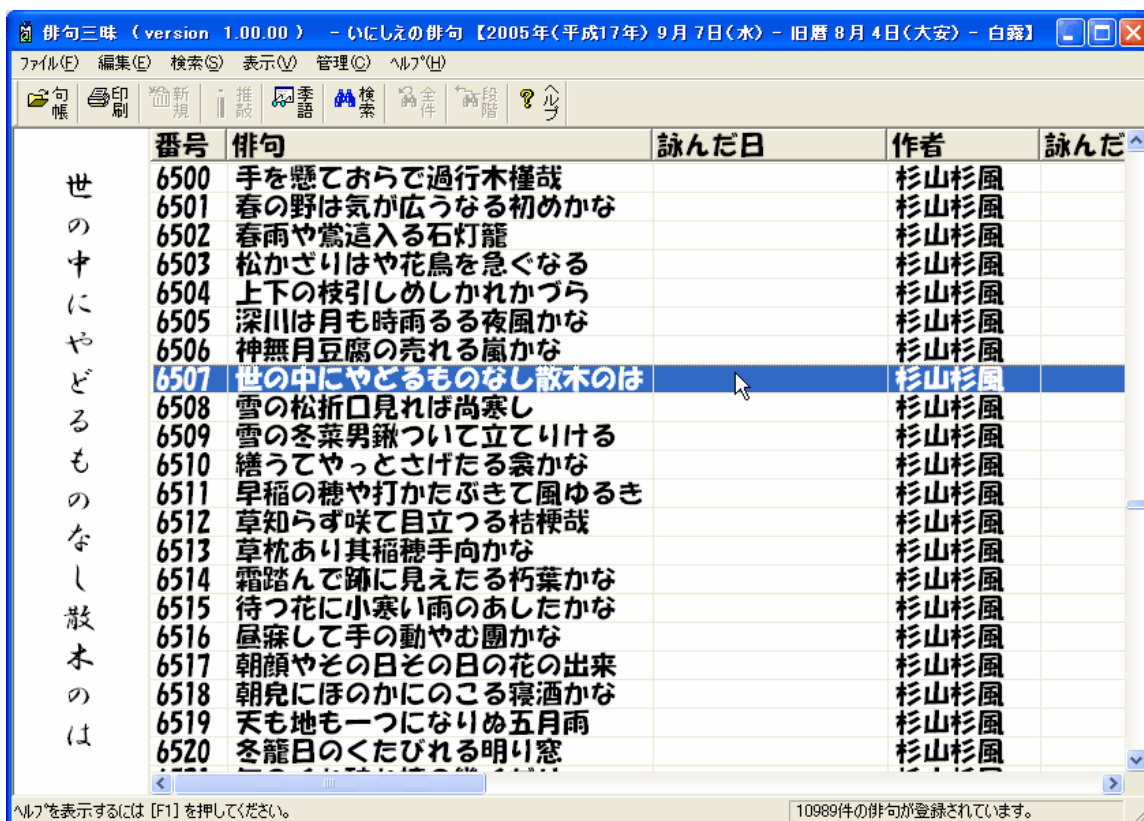


## 4.6 書体を変更する

一覧表示の書体および、縦書き俳句の書体は、変更することが可能です。  
書体の変更は、「管理」メニューから「オプション設定」を選んで設定します。



オプション設定画面の「俳句一覧の書体名」および、「俳句縦書きの書体名」を変更すると、下記画面例のように書体が変化します。

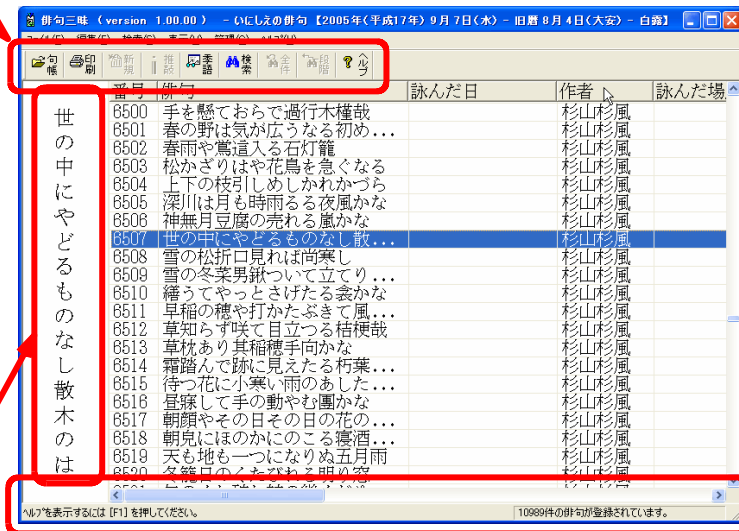


俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。  
書体の種類はコンピュータによって異なります。  
上記画面例の書体が、すべてのコンピュータに存在するわけではありません。

#### 4.7 縦書き俳句の表示有無を設定する

画面中の縦書き俳句は非表示にすることが可能です。  
同様に、ツールバーやステータスバーも非表示にすることが可能です。

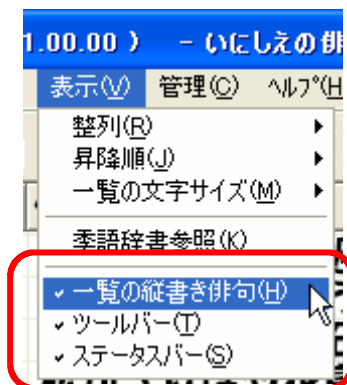
ツールバー



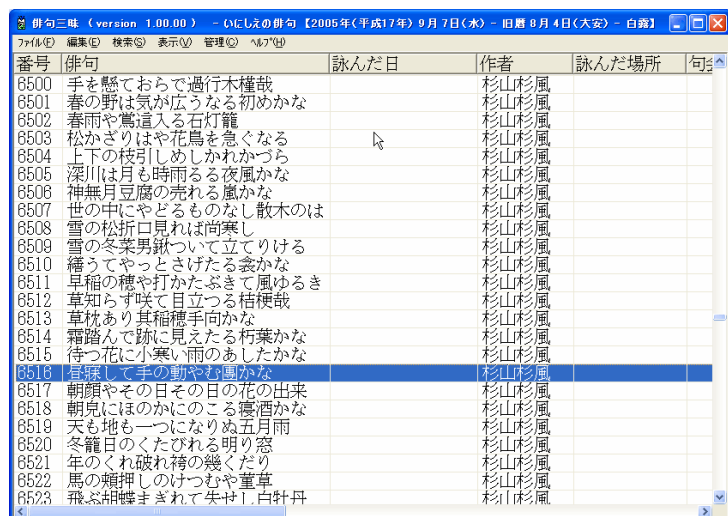
縦書き俳句

ステータスバー

これらの表示有無は、「表示」メニューで設定します。  
これらの項目を1回選択すると画面から消え、もう一度選択すると、画面に現れます。



以下は、縦書き俳句・ツールバー・ステータスバーをすべて非表示とした状態の画面です。



俳句の表示内容や列の順序は実際の画面と異なる場合があります。

